

第5回大分市教育ビジョン検討委員会 会議要旨

日時：令和2年2月10日（月）10:30～12:00

場所：大分市役所議会棟4階全員協議会室

○出席委員8名、欠席委員2名

次 第

(1) 開会

(2) 議事

①パブリックコメントの結果について

②大分市教育ビジョン2017第Ⅱ期基本計画最終案について

〈主な意見・質問等〉

委員	基本方針2「働き方改革の推進」のところで、時間の確保に向けた取組を進めていくということだが、方向性の骨子があるか。
事務局	具体的施策④「学校における働き方改革の推進」として新たな施策を追加し、主な取組として4点挙げている。これらの取組を進め、1月当たりの超過勤務時間が2から6か月平均で80時間を超える教職員の割合をゼロにしていこうと考えている。
委員	ゼロにしていくための方策として何かアイデアがあるか。
事務局	平成30年2月に策定した「大分市立学校における働き方改革推進計画」に、具体的な取組として12の項目を掲げている。例えば、学校徴収金の適正な管理の在り方の検討や、部活動の在り方に関するガイドラインを策定する等の各種の取組を進めることとしている。
委員	パブリックコメントはどのように行ったのか。また、事務局の負担はどうだったのか、かけた時間はどうだったのか。
事務局	パブリックコメントは、12月13日から約1か月間の期間で実施した。市報、ホームページによる広報に加え、各支所等に閲覧用の冊子を設置して周知したところである。いただいたご意見は、集約し、整理を行った。
委員	指標をどう見るかについて、教育ビジョンの8ページに注釈的な記載があり、これについては妥当だと思うが、この注釈が少し見づらいのではないかと感じる。字が小さく読み飛ばされてしまう可能性が高い気がする。字を少し大きくして括弧書きにする等、工夫の余地がまだあるのではないか。
事務局	できるだけ分かりやすくなるよう記載方法を工夫したい。
委員	この検討委員会を通して、大分市の今後の取組と何に向かっていくのかということ全体を、構造的に理解することができた。

委員	<p>非常に大きく変化していく今後の社会の捉え方であったり、今の分析であったりが重要になると思う。</p> <p>また、このビジョンが学校とつながらなければ意味がないのではないかと思う。最終的には先生方も理解し、大分市が一つになってこの教育ビジョンの実現に向かっていくことが必要であるので、先生方への周知も含め、教育ビジョンと学校とをつなげることが今後の課題ではないかと感じる。</p> <p>国のGIGAスクール構想などもあり、市、県、国における非常に大規模な予算化の中で、これからの5年間は学校のみならず教育現場は大きく変化する。併せて、子どもたちと保護者の生活の実態や目指そうとする夢、なりたい職業などの希望もますます多様になってくる。</p> <p>この検討委員会を通して、今の学校現場において特に大切にすべきことは何なのかということ考えた。教育ビジョンの基本理念や基本方針の中に、一人一人の可能性、一人一人の教育的ニーズ、一人一人に応じた、一人一人の確かな学力の定着向上というように「一人一人の」という言葉が繰り返し出てくる。学校現場においては、とにかく一人の子を大切にしてい、その子その子に応じた、ということが大切であると感じた。</p>
委員	<p>非常に激動する時代の中で、これからの学校現場は非常に大変だと思う。そのような中で、我々自治会としては、学校と地域とのつながりを密に行うことを大切にしている。</p> <p>また、将来、子どもたちに地元に戻ってきてもらうためにも、地域と学校がいろいろな部分でつながりを持ちながら、様々な行事等を行っているところである。</p> <p>この教育ビジョンが具現化され、地域と密接な関わりを持つ子どもたちが育つことを願っている。</p>
委員	<p>現場にいる第一線の先生が、教育ビジョンに掲げた理念や理想をいかに理解して現場実践に取り入れていくかが重要である。理念や理想を現場に浸透させるためには、各学校の校長先生や管理職のリーダーシップをもって現場をチェックし、指示を出す必要がある。</p> <p>働き方改革の問題については、理念ばかりが前にでてきて業務は増える一方であると感じている。合理化や簡素化ということについてはなかなか取組が進んでいない。学校徴収金のことであったり、部活動のことであったりは、一つの大きな方向性であり、現場がとても助かることだと思う。どうすれば働き方改革が進むかについては、管理職が現場における簡素化、合理化に真剣に取り組む必要があると思う。</p> <p>なお、働き方改革の問題については、部活動の問題等が報道され、先生はとても忙しいということは理解されるようになったが、先生方を疲弊させているのは理不尽なクレームへの対応であると大分市の教育問題に関わる中で感じている。クレーム対応に追われて、教材研究の時間も全て奪われてしまうような状況は、なぜかマスコミも取り上げない。しかし、このような現実をしっかりと見て、例えば、苦情処理体制を整えるなどの対策を講じなければ、先生になりたい人はいなくなると思う。</p>

	<p>また、スクールカウンセラーとして小中高校と関わる中で、今の子どもたちは足腰がかなり弱くなっていると痛感している。これは、小さいころから積み上げなので一朝一夕には解決しない。県教委に幼児教育センターができたが、幼児教育への取組の順位を上げて、肉体的なことだけでなく精神的な足腰が強くなるような方策を考えていくことが必要であると思う。できることから実行していかなければ、使えるものもだんだん弱くなるのではないかと先々を心配に思う。</p>
委員	<p>この検討委員会を通じて、子どもたちの教育環境、生活環境を整えるために本当にたくさんのことを考えてくれていると感じた。保護者として、PTAとしてどうあるべきかを考える機会となった。この教育ビジョンに希望がたくさん詰まっていることを嬉しく感じる。今後も、学校教育と生活環境を充実していけるように、私たちが何をすべきか、また、どうあるべきかということをしつかりと考えて努力をしていきたいと思う。</p>
委員	<p>1980年代に、「学習社会（ラーニング・ソサイエティ）」という言葉聞いたことがある。それから30年以上経つと、このような教育ビジョンのかたちでまとまってくるのかと感じた。</p> <p>この検討委員会の中で、市民一人一人ということが頭の中に浮かんだ。市民一人一人が、自分にとってどういう意味があるのか、自分の学びにとってどういう意味があるのかということが分かるように、この教育ビジョンを広報して欲しい。</p> <p>また、教育の連続性ということも考えた。小中高校の先生方はまとまっていると思うが、大学教員は必ずしも教育者ばかりではない。しかし、「主体的・対話的で深い学び」であるとか「学力の三要素」であるとか、だんだんと知られるようになってきた。小中高で鍛えられた子どもたちを大学でどのように育てるかということも考えたところである。</p>
委員	<p>30年近く地域における見守りボランティアの活動をしてきた。ボランティアを始めた時の子どもたちと今の子どもたちを比べると、外で遊ぶことが少なくなり、子どもたちには見えない部分が多くなったと感じる。コンピュータ等の多様化により子どもたちの遊びが変わり、そこに潜んでいる犯罪などの部分も表面化する中で、いろいろな視野で、地域で子どもたちを守るということが必要だと感じている。教育委員会においても、地域社会との連携の取組を進めているということが分かった。</p> <p>また、自分が行っている地域の活動を時代に合ったものとして地域社会に広げていくための視点を、この検討委員会を通して勉強することができた。この教育ビジョンがこれからの子どもたちに反映され、安全安心の大分市であるよう願っている。</p>
委員	<p>今、そしてこれから、大分市がどういう方向に動いていくのかということは、保護者の一人としても関心のあるところであり、本検討委員会は貴重な機会となった。</p> <p>この教育ビジョンは、どのような時代にも求められる事柄をしつかりと踏ま</p>

	<p>えると同時に、貧困対策のような非常に今日的な事柄にも触れられている。自分が中高生時代には一億総中流という言葉があり、実際に格差もそれほどなかった。ところが、今は、子どもの貧困対策に関する法律が制定されるなど、大きな時代の変化を感じる。そのような中で、この教育ビジョンには、消費者教育、主権者教育、ICT、といった今日的な教育課題もしっかりと盛り込まれている。今後も、時代の変化によっては、想像もできないような事態に対する対応を迫られるようなことが起こるかもしれないので、柔軟な対応が必要になってくると思う。</p> <p>今回まとめられた教育ビジョンは、専門的な言葉について、注釈を最終ページにまとめるのではなく同じページの中で説明したり、様々な取組等について、参考として写真を入れることで実際の様子を伝えたりして、非常に読み手のことを考えた冊子になっていると思う。</p> <p>教育は、誰にでも身近なものであり、また、誰もが経験している。しかし、学校はどのような仕組みで成り立っているか、どのような法的な根拠のもとに成り立っているのかなど、意外に知られていないと感じることが多い。このようなかたちでより多くの市民、様々な立場の方々に読んでいただけるものになったということが大変良かったと思う。</p>
--	---

(3) 教育長報告

<p>会長</p>	<p>動向や第I期基本計画の成果と課題等を踏まえつつ、計5回の会議を開催し、検討を重ねてきた。</p> <p>大分市教育委員会においては、今後とも大分市教育ビジョンの基本理念に沿って、次代を担う人材の育成に努めるとともに、市民一人一人が生涯を通じて、生きがいと心の豊かさに満ちた生涯を送れるよう、本市教育行政の推進にご尽力いただきますことを願います。</p>
<p>三浦教育長</p>	<p>会長、林副会長をはじめ、委員の皆様方には5回にわたる会議にご出席をいただき、貴重なご提言、ご助言をいただいた。私ども教育委員会事務局としては、本ビジョンの具現化に向け、事務局一同総力を挙げて努力してまいりたい。委員の皆様方においては、今後とも教育行政に対し、ご助言、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。</p>

(4) 閉会

<p>○「大分市教育ビジョン 検討のまとめ」については、2月末に開催の教育委員会において、議決・策定の予定である。</p> <p>○冊子については、関係各機関に配布するとともに、学校については、教職員に一人一冊配布する予定である。</p> <p>○市のホームページにて公表する予定である。</p>
--